

千年以上の歴史を誇るヴロツワフは、一度は必ず訪れたい街のひとつ。シロンスク地方の中心都市として文化・経済ともに栄えてきました。市街地を流れるオドラ川が作り出す 12 の島を 100 の橋が結びます。6 世紀のスラブ人の集落から 13 世紀のモンゴル人の襲来、ボヘミア侯国、さらにハプスブルク帝国、ドイツといろいろな国と文化からの影響が、ヴロツワフならではのコスモポリタン性と文化遺産を数多く残してくれました。

1 旧市街広場 Rynek



昔から生活の中心となってきた広場には、ゴシックとルネサンスの美が調和した美しい市庁舎（14 世紀末から 15 世紀初頭）があり、現在は市立美術館博物館として公開されている。建物の地下には欧州一古いといわれるビアレストラン「ピブニツァ・シフィドニツカ」があり、ゲーテやショパンらの偉人も立ち寄ったことがある店として知られる。広場のツーリストインフォメーションは年中無休（営業時間 4 ～ 10 月 9 時～21 時、11 ～ 3 月 9 時～19 時）。

2 金陽の館 Kamienica Pod Złotym Słońcem



16 世紀築のこの建物は、領主がシロンスクを訪れた際にヴロツワフで宿泊するために利用された。建物の裏側には国内唯一のメダル博物館 Muzeum Sztuki Medalierskiej がありメダルや勲章などの展示も充実。

3 ヤシと マウゴシャの家 Kamieniczki Jaś i Małgosia



「ヤシとマウゴシャ」はポーランドでは「ヘンゼルとグレーテル」の意味で向かって左のゴシック・ルネサンス様式の建物がヤシ、右はバロック様式のマウゴシャ。建物の間には手をつないでいるかのように見える 18 世紀のアーチがある。



4 聖エリザベタ・ ガルニゾン教会 Kościół Garnizonowy pw. św. Elżbiety

ヴロツワフ市で 2 番目に大きな教会。塔は高さが 83 メートル。郊外まで広く見渡せ、天気によければチェコ国境のステティ山地まで見えるパノラマスポット。

Move Your Imagination

欧州 文化首都 2016

WROCLAW ヴロツワフ観光map



5 ヤトキ通り ul. Jatk

中世の雰囲気を残す小路ヤトキ通りは、ギャラリーや工房が多く、特徴ある木造りの軒が続く。中世には肉の商いが行われていたこともあり、実物大の家畜などをモチーフにしたブロンズ像が人気。



6 聖マリア・マグダレナ教会 Kościół św. Marii Magdaleny

1175 年に完成したロマネスク様式の門があり、その芸術的価値の高さはヨーロッパ屈指。砂岩製の柱 8 本が支える湾曲部は聖母とキリストの生涯が描かれている。



7 ヴロツワフ大学 Uniwersytet Wrocławski

本館は 1702 年に神聖ローマ皇帝レオポルド 1 世が建てたもの。2002 年に創立 300 年。ヴロツワフ大学博物館内のレオポルディナ講堂 Aula Leopoldina は絢爛豪華なバロック様式で圧倒される必見スポット。



8 オソリネウム図書館 Zakład Narodowy im. Ossolińskich

オソリネウム図書館（旧聖マチェイ修道院の建物）は作家ユゼフ・マクシミリアン・オソリンスキが 1817 年にルヴフ（現ウクライナ領リヴィウ）に創設したオソリネウム図書館を戦後に移設したもの。ポーランドの詩聖アダム・ミツキエヴィチ作「パン・タデウシュ」の手稿やレンブラントの版画などが保管されている。



10 市場会館 Hala Targowa

ヴロツワフ市民の普通の生活を体感できる市場。1 世紀近く経た堅固な鉄筋コンクリート造りの建物には、食料品、生活雑貨、生花、衣料品などの店が並ぶ。内部の写真撮影可。



11 ドウニコフスキ・ブルヴァール Bulwar Dunikowski

オドラ河畔のオストルフ・トゥムスキが見渡せる絶好のフォトスポットとして市民の憩いの場となっている。観光シーズンには近くのピアスコヴィ橋 Most Piaskowy 付近から遊覧船でミニクルーズが楽しめる。

17 ヴロツワフ大学付属植物園 Ogród Botaniczny Uniwersytetu Wrocławskiego

かつての小さな庭園が始まりの 200 年近くにわたり、市民の憩いの場となってきた大学付属の植物園。生命の息吹を感じる春には色鮮やかな花が目を楽しませてくれる。



18 洗礼者聖ヨハネ大聖堂 Archikatedra św. Jana Chrzciciela

ヴロツワフ最古のオストルフ・トゥムスキ地区にある歴史ある大聖堂。戦災で 50 年代に再建された。中央聖壇と身廊、側廊は 13 から 15 世紀、塔と入り口上の湾曲部分は 15 世紀のバロック様式。イタリアの名工による聖エリザベト礼拝堂は必見。塔からはヴロツワフ市街の展望を楽しめる。

20 パノラマ・ ラツワヴィツカ美術館 Panorama Racławicka

円筒型の建物の中に収められたラツワヴィツェの戦いの図は 1794 年 4 月に帝政ロシアに抵抗した愛国軍人タデウシュ・コシチュシェコが起こした蜂起を 19 世紀の巨匠ヴォイチェフ・コサクとヤン・スティカが描いたもの。絵は高さ 15m、長さ 120m、直径 38m。



25 オペラ劇場 Opera Wrocławska

1839 年にハンス・ラングハウスの設計で着工し、2 年で完成。この劇場はその歴史のなかでバグニーニ、ワグナー、フルトヴェングラー、リスト、ヴェニヤフスキなど多くの著名な音楽家を迎えました。建物は戦災を免れ、最近のリノベーションで建築当初の雰囲気を楽しむことができる。



29 ヴロツワフ本駅 Dworzec Główny Wrocław

古きよき時代のヨーロッパの趣きが残る豪華な駅舎が自慢の鉄道駅。駅には人気のこびと像もあるので探してみるのも楽しい。また映画「灰とダイヤモンド」の主演男優ツィブルスキが、列車のシーンを撮影中に事故で亡くなった 3 番ホームには追悼の碑がある。



30 百年記念会館 Hala Stulecia (2006 年世界遺産登録)

名称はプロイセンがナポレオン軍に勝利したライプツィヒの戦いから百年目の年を記念して建てられたことに由来。現在も現役のイベント会場。天井ドームは直径 67m、高さ 43m。円蓋の頂きは鉄鋼材とガラス製の採光用天窓である。ドームを中心に正十字に翼を上げた四葉型で、音響効果を高めるため壁をコンクリートに木、コルクを混入した遮音層で覆うなど工夫が凝らされている。

